

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	①正殿等の早期復元と復元過程の公開
			施策の小項目名	○復元・修復に携わる人材の確保・育成及び県産資材の利活用
主な取組	県内技術者及び県産資材の活用による復元		対応する成果指標	沖縄県国営沖縄記念公園（首里城地区）の供用面積
施策の方向	・国及び首里城復元に関係する技術者・関係機関との連携の下、復元・修復に携わる人材の確保と育成を推進するとともに、復元に必要とされる木材や赤瓦等の県産資材の調査・研究を進めるなど、県産資材の利活用に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
首里城復興基金(寄付金)を財源とする首里城城郭内施設等の復元事業において、県内技術者の参加を図るとともに県産資材の積極的な活用に取り組む。	県	石彫刻物や扁額等の製作		
		県内技術者及び県産資材の活用による復元部位数(累計)		
		3部位	2部位(5部位)	1部位(6部位)
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課		【 098-943-0140 】	関連URL https://www.pref.okinawa.jp/kensei/kencho/1000011/1017742/1017782.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

首里城復興基金事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

その他

897, 785

695, 241

令和7年度活動内容

正殿に用いる石材等の調達、各制作物の検討及び製作、正殿
両廊下部の赤瓦の製造、磚瓦の製造、正殿2階の扁額の製作等

予算事業名

首里城復興基金事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

その他

612, 703

令和8年度活動計画

正殿に用いる石材等の調達、各制作物の検討及び製作、正殿
2階の扁額の製作等

活動指標名

県内技術者及び県産資材の活用
による復元部位数（累計）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

5部位

3 部位

100. 0%

順調

正殿の龍頭棟飾や鬼瓦、小龍柱、両廊下の赤瓦
等を製作・調達し、国への引き渡しを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

正殿の龍頭棟飾や鬼瓦、両廊下の赤瓦について、県産原土を県内工場で製作・製造し、令和7年度中に国へ引き渡しており、順調に進捗している。首里城正殿復元において
県産材を活用できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○首里城復興課ホームページやSNS等を一層活用するとともに、正殿完成に向けて高
まる期待感から増える予想される取材についても関係者と円滑に調整し、調達等
に関する情報を一層発信する。

首里城復興基金事業監修会議及び首里城扁額製作検討委員会の検討内容を首里城復興課
ホームページに掲載するとともに、県内技術者及び県産資材を活用した制作物の製作・搬
入状況を国と連携し、年度を通して継続的にマスコミ公開し、この結果、県内のテレビや
新聞において多数の報道がなされた。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	正殿完成時期が近づき、県内技術者及び県産資材を活用した制作物も残り僅かとなってきたことから、発信する材料が少なくなってきた懸念があるが、マスコミ取材等を通して効果的な発信に努める必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	正殿完成に向けて高まる期待感を踏まえ、県内技術者及び県産資材を活用した制作物の進捗状況等についても、マスコミ取材等を通して、効果的な情報発信に努める。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	①正殿等の早期復元と復元過程の公開
			施策の小項目名	○首里城の早期復元
主な取組	寄附金活用による復元		対応する成果指標	沖縄県国営沖縄記念公園（首里城地区）の供用面積
施策の方向	・県民をはじめ国内外から寄せられた寄附金に関しては、国との連携の下、正殿の木材や赤瓦など首里城の象徴的な箇所に活用し、首里城の早期復元に向けて取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
首里城復興基金(寄付金)を活用して、首里城城郭内施設等の復元のための事業を実施する。	県	国営公園事業者との調整による県での寄付金活用による復元		
		寄附金活用による復元部位数(累計)		
		3部位	4部位(7部位)	1部位(8部位)
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課 【 098-943-0140 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kensei/kencho/1000011/1017742/1017782.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

首里城復興基金事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

その他

897, 785

695, 241

令和7年度活動内容

正殿に用いる石材等の調達、各制作物の検討及び製作、正殿
両廊下部の赤瓦の製造、磚瓦の製造、正殿2階の扁額の製作等

予算事業名

首里城復興基金事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

その他

612, 703

令和8年度活動計画

正殿に用いる石材等の調達、各制作物の検討及び製作、正殿
2階の扁額の製作等

活動指標名

寄附金活用による復元部位数
(累計)

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

6部位

3 部位

100. 0%

順調

正殿の龍頭棟飾や鬼瓦、台御差床等を製作・調
達し、国への引き渡しを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

正殿の龍頭棟飾や鬼瓦、台御差床等を所定の仕様に加工し、国との調整を踏まえ、国へ引き渡しており、順調に進捗している。首里城正殿復元において寄付金を効果的に活
用できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

首里城復興課ホームページやSNS等を一層活用するとともに、正殿完成に向けて高ま
る期待感から増えると予想される取材についても関係者と円滑に調整し、調達等に
関する情報を一層発信する。

首里城復興基金事業監修会議及び首里城扁額製作検討委員会の検討内容を首里城復興課
ホームページに掲載するとともに、首里城復興基金（寄付金）を活用した制作物の製作・
搬入状況を国と連携し、年度を通して継続的にマスコミ公開し、この結果、県内のテレビ
や新聞において多数の報道がなされた。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	正殿完成時期が近づき、首里城復興基金（寄付金）を活用した制作物も残り僅かとなってきたことから、発信する材料が少なくなってきた懸念があるが、マスコミ取材等を通して効果的な発信に努める必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	正殿完成に向けて高まる期待感を踏まえ、首里城復興基金（寄付金）を活用した制作物の進捗状況等についても、マスコミ取材等を通して、効果的な情報発信に努める。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	①正殿等の早期復元と復元過程の公開
			施策の小項目名	○「見せる復興」の推進
主な取組	見せる復興での催事開催と復興状況の情報発信		対応する成果指標	沖縄県国営沖縄記念公園（首里城地区）の供用面積
施策の方向	・ 今般の首里城火災に対し、国内外より激励や復興に向けた支援が数多く寄せられている中、首里城の復興に当たっては、正殿及び関連施設の復元過程の公開を行うとともに、「復興」の理念と道筋について、国内外へ積極的に情報発信し、県民や多くの方々の復興に対する継続的な関心につながるよう、観て、学び、楽しめる「見せる復興」に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
首里城への来訪を推進することで、着実な復興の状況を来場者と共有し、首里城の復元および象徴される琉球の歴史・文化に触れる機会を創出する。また、復興の進捗等をSNS等を活用し発信する。	県	復興への機運向上に繋がる催事実施		
		復興に関する催事開催及び情報発信件数(累計)		
		催事 1件 情報発信 月1件	催事 1件(2件) 情報発信 月1件	催事 1件(3件) 情報発信 月1件
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課		【 098-943-0140 】	関連URL https://x.com/okinawa_Smpref

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名				首里城復興事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額			
一括交付金 (ソフト)	委託	35,000	35,000			
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
令和7年度は12月に2回首里城復興イベントを実施した。				令和8年度は秋ごろに1回首里城復興イベントを実施する。		

活動指標名	復興に関する催事開催及び情報 発信件数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	2件	催事 1 件	100.0%	順調	令和7年度は、12月6日から7日、同月12 日から15日、同月19日から22日までの計1 0日間首里城復興イベントを開催した。また、SNS を活用して首里城復興に関する情報発信を月平均 2回発信した。
活動指標名	復興に関する催事開催及び情報 発信件数（累計）		R7年度				
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	2件	情報発信 月 1 件	100.0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

年1回の開催を目標としている首里城復興イベントについて、令和7年度は2回開催した。また、月1回の情報発信を目標としている首里城復興に関する情報発信について、令和7年度は月平均2回実施し、多くの方々と正殿復元工事の進捗を共有することで復興への機運醸成を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況

- 8 -

様式 1 （主な取組）

令和7年度の取組改善案	反映状況
工事の進捗を踏まえつつ、県民に復興状況を効果的に伝えられるよう、イベントを検討する。	令和7年6月に首里城正殿の外観が完成、10月に素屋根が撤去され、正殿の全景が姿を現したことから、復元した正殿外観に初めてプロジェクションマッピングを行い、復興の進捗状況を県民に広く周知できた。



3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	令和8年度の正殿完成に向け、工事の進捗状況を踏まえたイベントを検討・開催するとともに、さらなる情報発信を行い周知する必要がある。□	⑧ その他	工事の進捗状況を踏まえ、首里城正殿完成を祝うイベントを実施するとともに、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化を含めた「沖縄の魅力」を国内外に発信する取組を検討・実施する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○首里城公園の防火対策の強化
主な取組	首里城公園の防災機能の強化		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・ 首里城公園の特性や想定される様々な出火要因等を踏まえた新たな防火対策等の実施や公園全体の防火対策の強化を図り、国や関係機関と連携した再発防止策の策定及び安全性の高い施設管理体制の構築により、二度と火災により焼失を生じさせないよう取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
首里城公園管理体制構築検討委員会を設置し、防災センター機能の強化、城郭内における初動対応の強化、さまざまな公園利用者に配慮した避難誘導体制の再構築、首里城公園に適した管理運営の確立に資する公園管理センター等の整備を進める。	県	建設工事		管理運営の評価・改善
		公園管理センター及び首里杜館の改修工事進捗率		管理運営の評価・改善に向けた委員会の開催数
		84.4%	100.0%	1回
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課		【 098-943-0140 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

首里城復旧・復興事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

57,035

23,483

令和7年度活動内容

管理体制の仕組みの見直し検討、防災設備等の運用体制の検討、リスクアセスメント体制構築・運用の詳細検討する。

予算事業名

社会資本整備総合交付金（首里城公園）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

内閣府計上

直接実施

158,419

451,369

令和7年度活動内容

公園管理センター増築・改修および首里杜館の改修工事を完了した。

予算事業名

首里城復旧・復興事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

25,000

令和8年度活動計画

正殿完成後の管理運営体制の構築、管理運営の評価方法検討及び改善等を行う。

予算事業名

社会資本整備総合交付金（首里城公園）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

内閣府計上

直接実施

175,020

令和8年度活動計画

首里城公園防災設備等整備工事を行い、国営公園と県営公園の防災システムの連携を完了させる。

活動指標名

公園管理センター及び首里杜館の改修工事進捗率

R7年度

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

公園管理センター増築・改修および首里杜館の改修工事を完了した。

実績値

—

—

79.6%

84.4%

94.3%

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公園管理センター増築・改修工事および首里杜館の改修工事を完了することができたため、順調としている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
実施業務の中で防災関連業務に支障が生じないよう工事フェーズを分け、施設管理者と密に情報共有を図りながら計画した施工計画に基づき、工事中も情報共有を図りながら施工を進める。	施設管理者と密に情報共有を図りながら計画した施工計画に基づき、工事を進めることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	公園管理運営の中で防災関連業務に支障が生じないよう施設管理者と密に情報共有を図りながら、工事を進める必要がある。正殿完成までに国営エリアと県営エリアの防災システムの連携を完了させる必要がある。	⑧ その他	公園管理運営の中で防災関連業務に支障が生じないよう施設管理者と密に情報共有を図りながら工事を進める。正殿完成までに国営エリアと県営エリアの防災システムの連携を完了する工程管理をしっかりと行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現
主な取組	自然・歴史・文化を感じる景観の創出		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・首里城を中心とした首里杜地区において、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、行政・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、自然・歴史・文化を感じる景観の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
自然・歴史・文化を感じる景観の創出するために、首里杜まちづくり推進協議会において、歴史まちづくりの促進に向けた検討、対策を実施する。	県,那覇市	協議会開催		
		歴史まちづくりの促進に向けた協議会の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課		【 098-943-0140 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

首里城復興事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

75,040

14,323

令和7年度活動内容

協議会・部会・ワーキンググループを開催し、各主体の実施事業について進捗報告を行う。また、地域住民だけでなく地域事業者の参画を促した。

(単位：千円)

予算事業名

首里城復興事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

10,000

令和8年度活動計画

まちづくり推進協議会の前期総括・後期計画策定を行う。また、持続可能な協議会体制について検討を進める。

活動指標名

歴史まちづくりの促進に向けた協議会の開催回数 (累計)

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

2回

1回

100.0%

順調

首里杜地区まちづくり推進協議会を2回開催し、地域住民と検討・課題の共有を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和7年度は、協議会・部会を各2回実施した。また、地域事業者・観光事業者が参加するワークショップを4回、まちづくり憲章作成のワーキンググループを3回・あり方検討グループを3回実施した (合計10回)。地域、事業者、有識者、行政による協議会の開催が目標1回に対し、実績2回実施しているため、順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○資料の配布や発信方法、参加方法を検討する。また、地域住民だけでなく地域事業者を参画させるしくみづくりを行う。

ワークショップの開始時間を店舗の営業時間前に設定することで、多くの地域事業者の参加を促すことができた。

- 14 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	地域における様々な問題を解消していくためには、協議会のあり方も含めた効果的な体制づくりが課題である。	⑧ その他	協議会事務局である地域、那覇市及び県とで今後の運営方法や会議構成について調整を密に行うことで連携と協働による魅力あるまちづくりに取り組む。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○歴史文化遺産の計画的な整備や歴史・文化を体験できる行催事等の推進
主な取組	中城御殿跡の整備		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡等の歴史文化遺産の計画的な整備や、歴史・文化を体験できる行催事等を推進し、首里城公園の魅力の向上を図るとともに、御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的な整備について、事業主体や保存に係る調査等の課題解決に向けて、那覇市、国と連携して実現可能な方策や観光資源としての利活用の検討に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
歴史文化遺産である中城御殿跡地等を整備するために、基本設計、実施設計、工事等を行う。	県	建設工事		委員会開催
		中城御殿跡地整備(表御殿東側エリアを除く)の進捗率		施設管理運営委員会(表御殿東側エリア整備の検討を含む)の開催数
		66.5 %	100.0%	1回
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課 【 098-943-0140 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/toshi/1012859/1012860/1012867.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	首里城復旧・復興事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
県単等	委託	13,860	6,164

令和7年度活動内容

中城御殿跡地整備検討委員会（御内原・表御殿エリア等）を行うための運営支援を行った。

予算事業名	社会資本整備総合交付金（首里城公園）		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
内閣府計上	直接実施	510,705	1,004,718

令和7年度活動内容

中城御殿跡御内原・表御殿西側エリアの工事を進める。また、龍潭周辺についても松崎馬場（第1期）工事を行った。

(単位：千円)

予算事業名	首里城復旧・復興事業		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	16,000	

令和8年度活動計画

中城御殿跡地整備検討委員会（御内原・表御殿エリア等）の運営支援等を行う。

予算事業名	社会資本整備総合交付金（首里城公園）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	2,447,597	

令和8年度活動計画

中城御殿跡御内原・表御殿西側エリアの工事を進めとともに、龍潭周辺の一体的な公園利用促進のため松崎馬場の園路についても整備を行う。

様式 1 （主な取組）

予算事業名		首里城復興事業			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		
		一括交付金 （ソフト）	直接実施		
令和7年度活動内容					
中城御殿跡地整備に係る公園施設展示設計および脇門（西側）石牆補修工事を行った。					

予算事業名		首里城復興事業			
R8年度					
主な財源	実施方法	当初予算額			
一括交付金 （ソフト）	直接実施	152, 017			
令和8年度活動計画					
中城御殿上之御殿エリアの旧石階段等の遺構を活かした石積工事を行うとともに、中城御殿表御殿西側エリアに、公園施設展示設置を行う。					

活動指標名	中城御殿跡地整備（表御殿東側エリアを除く）の進捗率		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	50 %	66.5 %	75.2%	概ね順調	中城御殿新築工事や上之御殿エリア整備工事（第2期）に着手後、新たな遺構等が出現し、整備に遅れが生じている。 松崎馬場整備については、既存樹木の伐採および新たな松植栽等の整備が完了した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
中城御殿新築工事や上之御殿エリア整備工事（第2期）の着手後、新たな遺構等が出現し、調査や設計計画の変更が必要となり遅れが生じたが、現場での工程管理を工夫したことにより、進捗管理は「概ね順調」となった。							
(2)これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			

様式 1 （主な取組）

○ 定例会議以外にも随時調整を実施、当課・設計監理・現場施工者間での調整をスムーズに行うための体制、那覇市との連携も密に行い工事進捗を進めていく。	○ 定例会議以外にも、那覇市も含めた関係者との調整を複数回実施し、工事の進捗管理を図った。
--	--



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 （改善余地の検証等）	工事施工者が複数になるため、工事期間中も他工事との調整、遺構の保護、展示収蔵部分の取合い等について、関係機関との連携を図りながら、計画的に工事を進める必要がある。	⑧ その他	各関係機関・関係者との調整を密に図りながら、工事の進捗を管理していく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○歩行者が周遊しやすい環境の形成
主な取組	観光地マネジメントの推進		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・観光交通の分散化を促す取組及び大型バス駐車場やパーク・アンド・ライドの推進等による観光客の受入環境の整備、龍潭線及び周辺道路の無電柱化や道路整備による交通環境の整備、公共交通網の充実やICTを活用した情報提供による歩行者が周遊しやすい環境の形成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
首里杜地区整備基本計画における観光マネジメントの推進について、駐車場マネジメント・公共交通利用促進・サステナブルな首里のまちづくり支援事業を行う。	県	観光地マネジメント		
		交通環境改善等の対策数(累計)		
		1対策	1対策(2対策)	1対策(3対策)
担当部課【連絡先】	土木建築部首里城復興課		【 098-943-0140 】	関連URL
				https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/toshi/1012859/1012860/1012869.html

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

首里城復興事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

各省計上

委託

44, 455

101, 810

令和7年度活動内容

観光客受入環境整備のため、首里城正殿時間制入場管理システムの構築、首里城公園周辺のデジタルマップの導入および駐車場空き状況の可視化を行った。

予算事業名

首里城復興事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

10, 000

令和8年度活動計画

首里城正殿時間制入場管理システムの運用による受入強化対策や公共交通利用促進の施策を実施し、受入環境および交通環境の向上に向けて整備を図る。

活動指標名

交通環境改善等の対策数（累計）

R5年度

R6年度

R7年度

実績値

—

—

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

観光客の受入環境の整備、交通環境改善の対策として、小型車の受入台数の可視化による駐車場の集中利用の分散化や、直行直帰型から周遊型観光への行動変容を促すため、デジタルマップを導入した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

小型車の受入台数を可視化し首里城公園ホームページで発信することで、駐車場の混雑状況を来園前に確認し、利用時間の分散化が図られた。また、直行直帰型から周遊型観光への行動変容を促すため、首里城公園周辺のデジタルマップを導入した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

首里城正殿時間制入場管理システム導入により、入場者の平準化を図る。駐車場空き状況の可視化により、来園前における公共交通機関の活用へ向けて発信する。首里城公園周辺のデジタルマップを導入により、観光客の周辺地域への周遊を促す。

反映状況

首里城正殿入場管理システムを構築した。駐車場空き状況の可視化により、利用時間の分散化を図った。首里城公園周辺のデジタルマップを導入した。

- 22 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 （改善余地の検証等）	首里城正殿の入場は時間および人数制限があることから、入場可否を示す「残数表示」を行うことが必要である。	⑧ その他	入場チケットの残数を公園ホームページで公開し、公園内に設置するサイネージでの案内や首里城アプリケーション内で表示する。
⑧ その他外部要因 （改善余地の検証等）	渋滞対策や周遊型観光を促すための公共交通利用促進にむけて、地域や事業者など関係者とグループワークや意見交換により課題を整理した。	⑧ その他	整理した課題の解消に向けた具体的な対応について、地域や関係者と連携して取り組む。